

八中だより

12月号

川口市立八幡木中学校

平成30年12月1日発行

<学校教育目標>	○自ら学ぶ生徒	○心豊かな生徒	○たくましい生徒
<目指す学校像>	○学びの学校	○落ち着いた学校	○信頼される学校

“しなやかさ”と“たくましさ”

校長 寺田 和成

月日の経つのは早いもので、今年も残すところあと1ヶ月となりました。2学期は、入場行進などで‘新風’を吹き込んだ体育祭をはじめとして、たくさんの行事がありました。どの行事も生徒たちの笑顔と活気に満ちあふれ、とても感動的なものとなりました。これも保護者や地域の皆様の温かいご理解とご協力、ご支援があったからこそと、心より感謝申し上げます。

本市の教育の基本理念の中には、“しなやかさ”と“たくましさ”という言葉があります。まさにこれらを育んでいくためには、こうした学校行事はとても大切であり、欠かすことのできないものと考えます。特に2学期は、校外で開催した行事が数多くありました。校外での行事は、校内とはまた違った良さが味わえ、地域や社会と直接触れ合うことで貴重な体験ができます。“しなやかさ”や“たくましさ”を育む上でも、実に意味のあるものになったと感じています。

○第12回合唱祭 於：川口総合文化センター リリア

10月31日、昨年度に引き続きリリアのメインホールにて合唱祭を開催しました。‘新奏’のスローガンのもと、リリア2年目となった今回は、さらにレベルアップした新たな合唱を目指し、練習を重ねてきました。どのクラスもその成果を十二分に発揮し、学年ごとにそれぞれの良さや成長を感じさせる見事な合唱を響かせてくれました。この合唱祭を通して、保護者や地域の皆様に、歌の素晴らしさと感動をお届けすることができたのではないかと思います。

○長距離走大会 於：都立舎人公園

11月13日、足立区の都立舎人公園をお借りし、長距離走大会を開催しました。一般の方々から温かい声援をいただきながら、自然豊かな緑あふれるコースを走ることができるのは、公園ならではの恵まれた環境だと感じます。男女とも約4kmの道のりでしたが、自己の体力の限界に挑戦し、最後の最後まで一人一人が力強く走り抜いてくれました。仲間や保護者の皆様からたくさんの声援が届き、走る人と応援する人が一体となった素晴らしい大会となりました。

○夢わーく職場体験活動 於：地域の57事業所

11月20日から22日の3日間、2年生の夢わーく職場体験活動が行われました。ほんの一步社会に出ただけですが、生徒たちは仕事の難しさや社会の厳しさなどを味わう一方、人の役に立つ嬉しさや社会に貢献する喜び、仕事を通しての充実感や達成感など、学校では体験できない大切なものをたくさん学ぶことができました。本校生徒を快く引き受けてくださいました57もの事業所の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。

“しなやかさ”と“たくましさ”と聞くと、私は真っ先に「竹」を思い浮かべます。竹は、実にしなやかで、強風にも耐えられるたくましい植物です。手で竹を強く曲げても折れず、離すと強く元のように戻ります。それは、竹には「節」があるからです。節がない棒だと、力を加え過ぎると途中で折れてしまいます。そして竹の節には成長点があり、それぞれの成長点が伸び、節と節との間隔を広げることで、竹は高く成長すると言われています。

人も竹のように、例えば困難や壁にぶつかっても“しなやかに”“たくましく”生き抜いてほしいと強く願います。そして、そのためにも「節目をどう活かし、自分をどう成長させていくのか」をしっかりと考えることが大切だと感じます。今年も1年が終わろうとしています。ぜひこの1年の節目が、来年の自分自身の新たな成長へとつながっていくことを期待します。